

土木工学論文索引の刊行を希望する

成 岡 昌 夫

土木工学論文抄録第6集が昭和36年1月に発行され、活用されているが、抄録委員会の委員各位の御尽力に対して、深甚な謝意を表す。日本機械学会より、昭36.11に、「日本機械学会誌および論文集総索引、第4集」(362ページ、600円)が刊行され、また、昨年、ASCEよりCumulative Index to ASCE Publications (808ページ、10ドル)が発行された。この両方を購入して、通覧したが、学会の論文抄録に対して、一言希望を述べたい。

前者の範囲は、昭27.1~昭35.12にわたる、機械学会誌、55.396~63.503、および、論文集、18.65~26.172に限られているが、内容は、1. 会誌、論文集発行年月表、2. 著者索引、3. 文献紹介索引、4. UDC分類索引、となっている。

後者は、ASCE Proceedings 1950~1959、ASCE Transactions 1935~1959、Civil Engineering 1930~1959に限られているが、内容は、おのおのについて、Subject Indexと

Author Index となっている。

抄録の発行は、非常にやっかいな仕事であり、抄録のために部厚なものとなって、高価すぎる。土木工学に関する論文は、上記の日本機械学会やASCEと違って、各方面で発表されるので、学会誌、論文集と限定せず、現在のようにひろく網羅することが好ましいが、土木工学論文総索引とし、著者別索引を加え、抄録を廃止して、現在のような分類索引とし、これによって、編集の労をへらし、ページ数を少なくして、定価を安くし、広く一般に利用されるようにする方が好ましいと思う。なお、機械学会誌のように、文献紹介が多ければ、その索引も必要であろうが、土木学会誌では、昔にくらべて少ない。しかし、それでも、あった方が利用者に便利であろう。

参考までに、他学会のを2つあげたが、委員会の労力低減と安価による一般の利用の点から、上記のように提案したいと思う。

【筆者：正員 工博 名古屋大学・京大大学教授(併任)

工学部土木工学科】

1962年~1963年フルブライト資金による往復旅費給付選考発表要項

在日合衆国教育委員会(フルブライト委員会)は1962年~1963年の教授研究員および大学院留学生に対する米国内での往復旅費給付に関する選考要領を次のように発表された。

1. 応募資格

- 1) 日本国籍を有すること(二重国籍者は認めない)
- 2) 米国の大学の招聘または在籍許可を得ており、少なくとも1学年以上留学を希望するものであること(招聘教授の場合は1年以下でも応募資格がある)
- 3) 米国における十分なドル資金による滞在費を確保していること(原則として渡米経験のない者に優先権がある)

2. 応募種別要項対照表

	教授・研究員	大学院
該当分野	全分野(米国内の視察旅行はふくまない)	全分野
年齢制限	なし	約35才以下
地位・資格	原則として大学教授、助教授および研究調査に従事する学識経験者で博士号あるいは同等以上の学識経験を有するもの。米国における所属が大学院留学でなく高度の研究、または正規の講義を行なう性質のものであれば日本における地位、年齢のいかんにかかわらずこのカテゴリーに該当する。 月額約360ドル以上700ドル以下の生活必要経費を保証されているもの。	米国の大学院に入学を許可され、滞米中の学費および全生活費、諸雑費(月額約170ドル)を確保できるもの
申込先および期	申込およびすべての連絡はフルブライト事務局宛 登録締切日 1962年2月20日 応募用紙締切日 1962年3月2日	右に同じ 1962年3月30日 1962年4月20日
面接・その他	4月3日、4日東京にて行なう	5月15、16、17日東京にて面接を行なう。面接の前日英語テスト、面接の翌日身体検査
英語研修	被推せん者のうち、推せん条件として6、7月頃東京にて約1カ月の英語講習(週5日、1日5時間、授業料はフルブライト負担)に出席を要求されることがある	

3. 応募手続き宛先

東京都千代田区九段2の2 電(301)0260~4

在日合衆国教育委員会内 教授・研究員係、または大学院留学係

(注) 希望者は、当事務局該当係に文書で応募用紙を請求すること